

導入する日本式幼児教育活動の一覧

活動名	概要
朝の会	登園後の最初の活動である。園児の出席を取ると同時に健康観察を行う(教師によって行われる)。園児が次の活動への見通しを持てるように、教師はその日の活動計画を園児に伝える。
帰りの会	一日の最後に行う。園児が翌日への期待感を持てるように、その日1日何をしたか、振り返りを行う。
おとうばん	園児が順番に役割を行うことを「当番」という。当番になった園児は、教師のお手伝いをする。例えば、朝の挨拶を教師と一緒に前に出て声がけをしたり、ものを配ったりする。小学校の日直活動に繋がる活動で、責任感の醸成を目指す。
皆で昼ごはん	生涯にわたって健康な生活を送るための望ましい食習慣の形成を目指す活動である。ここでは、a) 基本的な生活習慣(例:食前の手洗い)、b) 好き嫌いを無くし、食べることを楽しむ、c) 食べ物を大切にする、を習得する。
清掃	自ら清掃することにより、身の回りのみならず、公共の場所も綺麗に保つ社会規範の基礎を築く。また友達と共同ですること、協調性も育む。
おたより帳	園児は自身の出席簿として、毎日、持参する。教師と保護者間では連絡に用いる。幼稚園で園児がどのように過ごしているかを親に伝えると同時に、家庭で子供がどのように過ごしているかを教師が確認するための活動である。
Learning through play	4時間目に実施される70分間の活動 代表的な活動の1つとして「砂場活動」がある。